

常盤日新聞

二月二十七日夕刊

発行所 常盤日新聞社
 印刷所 常盤日新聞社
 電話 六三〇番

定部金 五銭
 送料 五銭
 代金 五銭
 印刷 五銭
 紙料 五銭
 雑費 五銭

常盤論 保險は文明の宗教

栗津清亮

(三)

而して向上も進化も、凡て萬代の子孫を通じて論ずべきであるが然し吾々は一日一刻も其努力と修養を空ふせずして、彼岸に急がなければならぬのである。私は此頃「宗教と思想」と云ふ雑誌の口絵で、今から五千年以前に作られたと云ふエジプトの「ノフリット」の胸像の寫真を見たが、骨相の優秀、面貌の美的智的兩ながら卓絶して居ること現代に於ても多く見ることの難い

のに驚かされた、人類は此幾千年の間に果して善く進化の原則を實現し得たのであるか、私の所謂向上生存が遂げられつつあるのであるか、私は坐ろに之を怪訝せざるを得ぬ。

吾人は神を畏敬して其の創造の恩に答ふべく精神的修養と向上を主眼とせねばならぬ。物質的慾望に墮して退化的生存を營んではならぬ。而して是には生命保険と云ふ制度に實する我々の信頼が宛ら彌陀の袂に絶るが如き心強さを感ぜざるを得ぬのである。「プレート」は人が神から賦與せ

られた神的美質を智慧節制公平勇氣とし人的美質を健康、美麗、勇力及び財寶として居る。又人類生存の要素を精神肉體及び財産の三者として居る。而して斯く財寶財産を人類生存に取つて末位の必要とするのは吾々も理想に於て同感であるが、而も現代物質文明の社會に於ては、屢々之首位に置かれるのを悲しまざるを得ぬ (つづ)

賣地廣告

平町鷹匠町九番
 ノ二五畝歩
 機關庫裏道路ニ面シ
 間口六間奥行廿五間
 (十五畝歩)
 御希望ノ方ハ平町三丁目鈴木勝藏方へ乞御來談

猪鹿日本後荷着

猪鹿一人前 六拾錢
 猪鹿二人前 七拾錢
 猪鹿三人前 八拾錢
 猪鹿四人前 九拾錢
 猪鹿五人前 十拾錢
 猪鹿六人前 十一拾錢
 猪鹿七人前 十二拾錢
 猪鹿八人前 十三拾錢
 猪鹿九人前 十四拾錢
 猪鹿十人前 十五拾錢

石川亭 電話四三番

加藤營業所

平白銀町十五番地
 振替口座仙臺六二四三番
 電話三二番二五五番

仲間町商店向十圓
 櫻町勤人向十圓
 柳町勤人向十圓
 白銀町勤人向十圓
 商店向十圓

神戶火災 平代理店
 東洋火災 平代理店
 共保生命警東代理店
 御用は電話三二番へ

大懸賞募集

果然人氣の中心は

三丁目平銀行横に集る!!

課題 今度三丁目角大原モスリン店跡へ奇麗な店が開業いたします左記三題を解答して登つて御投票下さい(用紙はハカキ) 締切二月廿八日

- 一、何商賣の店が出来るか
- 二、何月頃開店するののか
- 三、何店の分店なるのか

宛先は平町三丁目 大黒屋小間物店宛に之し、御投票を願います

正解者多數の際には常盤毎日新聞社員立會の上抽籤に依り左の如き賞品を差上ります

賞品

- 一、等會席膳五人前壹組
- 二、等地球印家庭鍋貳組
- 三、等旅行用安全カミソリ三組
- 四、等舶來ミツケル 臺附鏡五組

等外クラブはみかき一ヶ宛二百名

三月中常盤毎日新聞紙上に於て發表

小店員募集

高久病院

院長 醫學士 高久忠
 副院長 新湯醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町電話五二三番

磐城の誇りの 古の鯉節

天下 一品

鹽崎山崎合名社會
 平町橋通十番

御進物には一番

吉田眼科醫院

平町紺屋町
 電話 園五〇七番

あん餅で 東北一...

平町長橋町 まつや

平名物 花澤の餅

鐵道省御用舖 花澤四良司菓子店

吉田屋染工場

平町五丁目
 電話 五五八番

手拭、消防被服 專染所
 印半天、風呂敷
 弟子さん募集

特遊券

お遊びに御出で下さい

平町松本園池端 小丸和

電話 三六番

有効期間三月三十日迄
 壹枚でお幾人様にも共用できます

鐘太鼓の勤儉週間も 消極的な方面にのみ

考へられて効果が薄く 全く徒勞に終る

第六回の勤儉週間も恰度農 村に於ける一ヶ年中只一回 の閑息時なる舊正月も松の 内に終つたが其跡を見れば 今頃は婦人の力に依つて之 れが

成績を あげようと

しては見たが地方委員連も 斯うした時に、あまりくど くしく宣傳した處で返つ て反感こそあれ左程の効果 も納め得ないので格別の活 動も見せず一般にも大して 知られずに経過したもので、 多量に多量に多量に多量に 間も既に

六回目 であるから

世間でも頭にはいらぬといふ 云ふ筈はなく何時の官憲 が鐘太鼓で宣傳して歩かな くてもよいと思はれて居る 此週間と云へば只節約する と云ふより消極的な方面に のみ考へられる傾きがあり

各官廳 初め貯金で

もしさいすれば用は足りた る位に思つて居るので一般 からも氣受がわるくむしろ 反對の方面に流れてゆくで はないかと思はれない でもない、最少も勤儉の勤 と云ふことを強く考へしむ る事として積極的な

活動を するように

導いてこそ非常に有意義な ものと思はれると某消息通

東北隨一の

メロン栽培 出来ばの優良

石城郡泉村志賀澤之助、吉 田勝規兩氏栽培にかゝるメ

ロンは目下直径三四寸位に 達し來月中旬頃より漸次中 央市場に送らるゝ見込であ る。いふが兩氏本年の栽培 は各二百四十顆宛で価格は 百多一圓五十錢内外で一個 三四百多平均とし合計二千 四五百圓の見込である因に 温室によるこの種の栽培は 泉村の兩氏以外東北にはそ の類例がないとのことであ

財界不況から

我慢する積り

平の役場新築

平町役場の改築は多年の懸 案で役場當局では一刻も早 く改築をなすべく南町裏郡 役所西に九百坪の地所を買 ひ込み財界の好況期に現役 場を賣り拂ひ新築すべき豫 定計畫であつたが財界不況 の折柄としてそのまゝになつ てゐる現在の不景氣が回復 すれば新築に着手する方針 であるらしく同町の人口増 加とともに事務も複雑を極 める今日現在のまゝでは到

廿九聯隊の

將校が演習

四倉から平を 經て今日歸隊

若松歩兵第二十九聯隊將校 の現地戰術は一兩日前より 石城地方に於て行はれ二十 五日は四倉町より午後四時 三十二分着列車にて平驛へ 下車住吉屋本店に投宿昨廿 六日平窪村方面に於て演習 の上河夜も平町滞在廿七日 日警越線より歸隊の筈であ ると、因に仙臺第三旅團長 林彌三吉少將は副官石川吉 郎少佐を隨へて二十五日前 記二十九聯隊將校と同列車 にて來平尼子亭に一泊現地

櫻花燈を

廢した理由

地元の應募少く 既報東部電力株式會社は本

底完全なる事務を處理する ことが出来ないこれにつき 伏見町長は

役場新築の問題は一昨年 來よりさきあげられてゐるが 何といつても經費の問題 で目下の財界不況時に際 し多額の費用を投じて役 場新築をなすは無算すぎ る故に景氣恢復と共に理 想的なもので完全なる市 制を布かれても直接間に 合ふ様な役場を造りたい と思ふ現在のところ全く 壽司詰の体でやり切れな いけれ共當分これ我慢

妙齡の婦女が

藁繩よりの夜なべ

収益は處女會の基本金に 範をすべき草野村

石城郡草野村處女會では約 八十名の會員結束の上昨今 の農閑季を利用して來る舊三 月迄の間に於て各自藁繩三 十把づつを編ひ之れが賣上 げ代金全部を當面の基本金 とする事に決定すでに實行 に着手し非常なる意氣込み を以て出來上りたのしん で居ると因に右収益は一把 四錢で合計金額約七十圓位 に過ぎぬが村内有志は其の 舉に感奮し相當後援の心組

草野補習生が

見學に十里

を徒歩して

石城郡草野村實業補習學校 生徒及村内有志等四十餘名 の一行は柳内校長引率の下 に昨二十六日同村泉村の篤 農家志賀澤之助氏の農圃見 學に赴いたが草野泉間は鐵 道その他交通機關の完備あ るに拘らず午前三時校門出



家庭庭欄

味噌汁の加減

最初に煮出しを作つておき 味噌を丁寧にするつてその煮 味を適宜に描りあはし味 噌こしでこして鍋に入れ好

み、材料を入れます。味噌 は醤油と同じで長く煮立て ると風味が抜けますから堅 い材料は別に茹でて用ひま す。味噌を水から仕かけた り煮詰まる迄煮たりしては 決して美味い味噌汁はで きません。また冷めたもの を煮返したりしては尚ほ更 です。ですから老人や子供

書信は 次の如くで

ある「聊其の事情を貴職に 開陳致候不省先年舊郡山電 氣株式會社平支社長として 赴任して以來五箇年常に電 氣事業を通じて少くとも公 共的の施設に寄與せんこと を思ひ其の一端として就任 當初

募集上

には尠な かに努力と幾多の困難の 伴ふありて殊に逐年地元よ りの應募減少の傾向を示し 一昨年不得已東京方面の物 品購入取引先より強ひて募 集したるの状態に有之候然 れ共其の募集は到底之れ を永續すべき事を許さざる 事情あり且つ

櫻子の 季に松ヶ岡

公園の夜の観櫻に便ならし むる方法を以て平の櫻を汎 く紹介し他地方人士を吸集

昨年の 傾向より推

測して地元よりの募集が豫 定に達すべきの見込なき様 被認候に付今年は右櫻花廣 告燈の募集點火を中止可仕 候間右の事情御了察を得度 此段申述候也

小川江總會

豫算其他附議

既報石城郡小川江筋普通水 利組合は本日午前十時より 那會議室に於て通常總會を 開き左記事項を附議した

△大正十四年度組合歳入 出更正豫算△大正十五年 度歳入出豫算△費目流用 の件△共有金一時運用の 件△臨時出納検査立會人 選舉の件△常設委員選舉 の件△其他

發往復十里の行程を徒歩に より勤儉獎勵の一助とした 誠首説は

噂に止まる

實際は手不足

石城郡内郷村磐城炭礦が事 業の緊縮方針に基き大ダツ な従事員の淘汰を爲すべく 傳へられたが實際に就いて 聞く所に依れば警務係長の 佐々木秀松氏が休職となつ た爲め多少の異動があり且 つ目下病氣の爲めに職務に 服せない者があるので夫等 の前後處置を決するに止ご まりさしたる大誠首等の行 はれる筈なく殊に役員の方 況は大正七八年の好況前に 比較するに非常な減少を來 たし手不足の状態であると いふ

赤井村會

石城 郡赤井村字高萩にて去る二 十六日午前九時より同村役 場にて村會召集し大正十四 年度決算及び大正十五年度 歳入出決算を行つた

募集

文藝其他投稿 を募集します